

希望の鐘

第212号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

文責：校長 佐々木

中学校で学ぶということ その2 ～未来への架け橋講座から～

「将来〇〇になりたいけど、中学校での勉強って関係ないと思う。」「苦手な□□を勉強しても、自分の将来したいこととは関係ない。」……。大人になる階段の途中で、誰でも一度はそんな「学ぶことの意味」を考えたことがあるのではないのでしょうか。

本校で行っている「未来への懸け橋講座」では、職業観や将来の夢を実現するために必要なことばかりでなく、「学ぶことの意味」について様々なヒントを与えています。

11月29日(火)の講座では、「ハーモニーナースステーション」で訪問看護師として御活躍中の看護師 木村麻美さんのお話を聞きました。

家庭で生活をしながら闘病生活を送る患者さんが自分らしい生活を送ることができるように、様々な治療や介護だけでなく、趣味の話を通じてコミュニケーションをとることなどにも心を砕いていらっしゃいます。

「看護師の仕事が大好き」

「自分も中学校の頃は、学校の勉強がどんな役に立つのかわからなかったけれど、働いてみたらいろいろなところで役に立つことがわかってきた。」

「学校で行事等でみんなと一緒に、一つの目標に向かって取り組む経験は、大人になって何か一つのことをチームで成し遂げるときに役立つ。」

優しくて熱いお話に、心が震えたひとときでした。



11月30日(水)の講座では、是川縄文館 是川縄文の里整備推進グループリーダーで学芸員の小久保拓也さんにお越しいただきました。学芸員の仕事は、遺跡の発掘や出土品の管理や展示、遺跡のすばらしさを紹介する研修会や講演など多岐にわたります。小久保さんは考古学を学ぶ中で是川石器時代遺跡がいかに貴重であるかを知り、埼玉県から八戸まで来られたのだそうです。

また、小中野中学校の創立当時は独立した図書館があったこと、「八戸郷土博物館」という、八戸市で最初の博物館が校地内にあったことなど本校の歴史についても事前にたくさん調べて、教えてくださいました。

「これまで学んできたことを生かして、新しい発見に出会う(見逃さない)ことが楽しい。」

「学校で『ああいう人になりたい』と思える、尊敬できる人に出会うことが今後生きてくる。」

「小中野中で大切にしている、失敗を恐れず挑戦する心、相手の失敗を許す心が自分の強みになる。」

「一人ではできないことも、たくさんいる仲間と助け合うことで達成される。」

本当に考古学に魅了されていることが伝わってくるお話でした。

現在学校で学んでいること(教科の学習だけでなく)が、実社会で必ず役に立つことを再認識させられた二日間でした。



中学校ってどんなところ？

小・中学校ジョイントスクール

11月24日(木)、小中野中学校区小・中学校ジョイントスクールの一環として、来年4月に入学予定の小中野小6年生が本校を訪問しました。

初めに、体育館に並べられた中学生が毎日取り組んでいる「コナノート」を小学生に見てもらいました。「こんなにびっちり書くんだ。」「すごく勉強している。」など、驚きの声が上がっていました。

次に、5～6人ぐらいのグループに分かれて、中学生が授業を受けている様子を各教室の後ろから見学しました。6年生の各グループでは案内や計時の係が決まっています、静かにメモを取りながら、効率よく見学していました。

最後は、20分間体育の教員による、体験授業に取り組みました。

中学校の体育の授業で行っている準備運動や、持久力がものをいう「ラディアン運動」に挑戦した6年生たち。元気なあいさつや返事が素晴らしかったと思います。

小学校の授業としての見学だったことから、中学生の良いところを3つ探すという課題が出されていました。

さて、中学生の良いところとして、どのようなことが挙げられていたのでしょうか。気になるところですね。来年4月の入学を心からお待ちしています。

12月の主な行事予定

- 1日(木)～9日(金) 三者面談週間
- 4日(日) 全校朝会
保護者参観日
- 5日(月) 4日の振替休業日
- 9日(金) 生徒朝会
(アンサンブルコンテスト壮行会)
計算コンテスト
- 10日(土)～11日(日)
アンサンブルコンテスト地区大会
- 12日(月)～16日(金) 清掃強調週間
- 13日(火) 生徒朝会
- 23日(金) 2学期終業式



配布物のデジタル化

「スクリレ」アプリ、導入します！

夏休みが明けたころから、学校では配布物のデジタル化について、様々な情報を集め、吟味してきました。

そしてついに、今月から「スクリレ」というアプリを使った配布物のデジタル化に着手することといたします。

導入のきっかけは、保護者の方々からの御要望はもちろんですが、「中学生になるとなかなか保護者の方におたより等が渡らないことを防ぎたい」「ペーパーレスにも貢献したい」ということが挙げられます。

スマートフォンにアプリを入れるなど保護者の方には若干お手数をおかけしますが、御協力いただければ幸いです。本日、その手続きの仕方が書かれたおたよりを全校生徒に配付しましたので、御対応のほどお願いいたします。

なお、「安全情報配信システム」は、異常気象や地震、不審者情報等、命を守る行動を呼びかける(願います)場合のみに使用します。

また、今後、例えば八戸市全体で、配布物専用の違うアプリ等を導入する場合は、そちらに切り替えることもありますので、御了承くださるようよろしくお願いいたします。



学校評価に係る保護者アンケートへの御協力、ありがとうございました。

学校に対する御指摘、生徒たちへの温かいお言葉、本当にありがとうございます。励みになります。この結果を3学期、そして来年度の教育課程に生かしてまいりますので、期日を若干延長しますので、まだ回答なされていない方は、御協力くださるよう何卒よろしくお願いいたします。